

令和8年4月13日

令和8年4月定例記者会見

## 奥田小由女作品《<sup>あまかけ</sup>天翔る<sup>さんか</sup>讃歌》の展示について

この度、広島県との貸借契約により、奥田小由女氏の大型レリーフ作品《天翔る讃歌》を奥田元宋・小由女美術館で収蔵することとなりました。

これを記念し、奥田元宋・小由女美術館で開催する「開館20周年記念 奥田元宋展—<sup>ゆかり</sup>縁の作家たちとともに」でお披露目いたします。

### 1 経緯

奥田小由女氏が、平成元年に竹下広島県知事からの直接の依頼により、当時の広島県婦人総合センター「エソール広島」に展示するために制作された《天翔る讃歌》(1989年)について、三次市での展示活用を目的に借り受けたもの。

### 2 作品について

縦2メートル、幅13メートルの大型レリーフは、女性の飛躍を願って制作されたもので、この度、展示・鑑賞しやすいよう作品の一部が改修\*されています。

改修にあたっては、奥田小由女氏が監修・補彩されています。

\* 令和7年度、作品の左から約4分の1の箇所には108度の角度が付いていた部分を平面に加工。

展示会期 令和8年4月23日(木)～6月21日(日)



広島県三次市

教育委員会教育部 社会教育課 文化学習係(担当:山西・松下)  
奥田元宋・小由女美術館(担当:松原)

TEL:0824-65-0010 FAX:0824-65-0012



奥田元宋『焔焔』(1990年 紙本彩色 奥田元宋・小由女美術館蔵)



奥田小由女『白い鳥』(2009年 樹脂・色胡粉 奥田元宋・小由女美術館蔵)



奥田元宋・小由女美術館  
Okuda Genso Sayume Art Museum



# 奥田元宋展

開館20周年記念

縁の作家たち  
とともに

2026(令和8)年

4月23日(木) — 6月21日(日)

休館日：毎週水曜日(ただし4月29日・5月6日は開館)、4月30日(木)、5月7日(木)

開館時間：午前9時30分から午後5時まで ※入館は閉館の30分前まで ※5月2日(土)・31日(日)は開館時間を午後9時まで延長

入館料：一般1,200(1,100)円／高・大生700(600)円／中学生以下無料／( )内は20名以上の団体

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は観覧無料(入館の際に手帳等をご提示ください)

- 主催：奥田元宋・小由女美術館／中国新聞社 ●後援：中国放送／広島テレビ／広島ホームテレビ／テレビ新広島／広島エフエム放送／FMちゅーピー76.6MHz／エフエムふくやま／尾道エフエム放送／FM東広島89.7MHz／三次ケーブルビジョン／三次市／三次市教育委員会
- 特別協賛：三次商工会議所創立80周年記念

〒728-0023 広島県三次市東酒屋町10453-6 TEL：0824(65)0010 FAX：0824(65)0012 <https://www.genso-sayume.jp>



奥田元宋『魄』(1979年 紙本彩色 日本芸術院蔵)

奥田元宋・小由女美術館は2006年に広島県三次市に開館し、本年で開館20周年を迎えます。本市出身の日本画家・奥田元宋と、その夫人で同じく本市出身の人形作家・奥田小由女の作品を中心に収集・展示し、両作家の顕彰を続けてきました。「ふたりの美術館」を開くことを夢みて歩んできた夫妻の想いを受けて開館した当館は日本でも類を見ない、夫妻の名前を冠した美術館として、企画展の開催や満月の夜間開館など独自の活動を行ってきました。

奥田元宋(1912-2003)は1930年に画家を志して上京、遠縁にあたる児玉希望(1898-1971)の内弟子となります。初期は人物画、花鳥画を手掛けていましたが、故郷への疎開を機に風景画に開眼。「元宋の赤」と呼ばれる山容風景で新境地を切り拓きました。1973年には日本芸術院会員に任命、1981年に文化功労者に顕彰、1984年には文化勲章を受章。戦後の日本画壇を牽引した作家として高く評価されています。

本展では、奥田元宋の初期から晩年までの作品を通してその画業を振り返ります。師・児玉希望、希望の師・川合玉堂、希望画塾で切磋琢磨した佐藤太清、元宋と交友の深い鈴木竹柏、風景画の魂を受け継ぎつつも最新の技術で日本画界に旋風を巻き起こした千住博の作品もあわせて紹介し、日本画における風景画の変遷をご紹介します。

また奥田小由女(1936-)は1976年に元宋と結婚し、その制作を支えながら自身も長らく日展を中心に作品を発表し、わが国の工芸、人形の芸術表現の新境地を切り拓いてきました。2020年には文化勲章を受章し、夫妻それぞれが文化勲章受章者となる日本初の快挙となりました。本展でもその代表的な作品を共にご紹介し、20周年の節目に改めて響き合う夫妻の創作の軌跡をご紹介します。



川合玉堂『峰の夕』(1935年 絹本彩色)



児玉希望『暮春』(1930年 絹本彩色 広島県立美術館蔵)



佐藤太清『雪つばき』(1994年 紙本彩色 日本芸術院蔵) ©Masako Sato 2026/JAA2600028



鈴木竹柏『ひかり輝く』(2013年 紙本彩色 平塚市美術館蔵 鈴木美津子氏寄贈)



千住博『四季滝園(夏)』(1999年 軽井沢千住博美術館蔵)



奥田小由女『花の門を行く』(2023年 樹脂・色胡粉)

### 企画展関連イベント

#### ■ギャラリートーク

日時：①4月26日(日)・②5月24日(日)  
各日とも14時～(所要時間30分)

講師：当館学芸員  
※企画展チケットが必要です

#### ■ワークショップ

日時：5月17日(日)  
(事前申込要・応募多数の場合抽選)

#### ■満月ロビーコンサート

日時：①5月2日(土)・②5月31日(日)  
各日とも14時～、19時～  
(事前申込不要・参加費無料)



- アクセス
- 広島市内から【三次駅】への鉄道・バスの案内
    - JR芸備線で【広島駅】から【三次駅】まで90～120分程度
    - 備北交通高速バスで【広島駅】または【広島バスセンター】から【三次駅】まで90～120分程度
  - 【三次駅】から【美術館前】へのバス・タクシーの案内
    - 路線バスで約12分【美術館前(奥田元宋・小由女美術館)】下車、またはタクシーで約10分
  - 【広島バスセンター】から【美術館前】への直通バスの案内
    - 【広島バスセンター】9番のりばから「美術館前」行き(9:20発・10:45発)に乗り、【美術館前】まで約100分
    - ※【広島駅】と【広島バスセンター】は2kmほど離れています
  - 乗用車での交通案内(左の地図もご参照ください)
    - 中国自動車道【三次IC】から2.5km/約3分
    - 中国やまなみ街道【三次東IC】から9km/約15分
    - 広島空港から60km/約70分
    - ※美術館および近隣の駐車場…乗用車約350台 バス10台(共用含む)

広島市 ▶▶▶ 美術館への直行バス運行中!

※運行状況・時刻等は備北交通株式会社(TEL:0824-72-2122)へお問い合わせください



奥田元宋・小由女美術館  
Okuda Genso Sayume Art Museum

〒728-0023 広島県三次市東酒屋町10453-6

【お問い合わせ】TEL:0824(65)0010 FAX:0824(65)0012 <https://www.genso-sayume.jp>



◎令和8年度三次市支援事業 この事業は、三次市の補助金等の支援により実施しています。

◎Supported by 医療法人社団こね森内科医院、備北交通株式会社、ミサワ環境技術株式会社、丸善製薬株式会社、総合エナジー株式会社、ネットヨタ広島株式会社、五洋建設株式会社中国支店、広島トヨペット株式会社、株式会社フジタ広島支店、ヒロマツホールディングス株式会社、広島八谷建設株式会社